

（2）特色ある教育活動

目指す生徒像「自分の考えに自信をもち、他を思いやりながら自己実現する生徒」の実現のために、個別最適な学びと協働的な学びを確立しながら、生徒一人一人の「よさ」を認め、「可能性」を引き出す指導を心掛け、教育活動を展開する。

人権教育や命の教育等、これまでの本校の特色ある教育活動を礎に、確かな学力の向上、豊かな心の育成、健やかな体の育成を相互に関連付け体系化し実践することによって、生徒一人一人の自己有用感や自己効力感を高める。教科指導や学校行事における通常の学級と特別支援学級による交流学习を拡充するなどして、特別支援教育の充実を図る。特別支援教室においては、指導目標を明確にし、退室後も在籍学級において必要な支援や配慮を行えるよう環境を整えていく。

ア 令和5年度の具体的な方針

- ① 令和4年度の実践と成果をもとに、教科指導における通常の学級と特別支援学級の共同学習を推進する。
- ② 体験的な学習を中核としたキャリア教育の充実を図るとともに、交流学习を推進する。
- ③ 一人1台タブレット端末の活用や学校図書館の利活用を促進し、情報活用能力を高める学習を推進する。
- ④ 命を大切にすることを、体系的・継続的に学習展開する。

イ 方針を達成するための具体的な取組

- ① 音楽、保健体育、美術等を中心に共同学習を推進する。
- ② 運動会、音楽祭、修学旅行、職場体験、スキー教室、生徒会活動等の体験を伴う学習内容の際に、交流学习を推進する。
- ③ 「図書館調べる学習コンクール」への参加やC B Tを活用した授業の展開を実践する。
- ④ 命の教育の週間のうち、2学期はいじめ防止に関する内容を、3学期は防災教育に関する内容を学習する。また月1回の安全指導日等を活用し、健康・安全に関する理解を深めるためアンケートや避難訓練・安全教室を実施する。

ウ 評価方法

生徒による授業アンケート、生徒の作文等の記述（ポートフォリオ）、保護者・地域等からのアンケート、生徒及び保護者によるフォーカスグループ・インタビュー、学校評価等

エ 土曜授業等の有効活用

近年、土曜日には地域の行事や部活動の公式試合、高等学校等の入試説明会・体験入学会、習い事などが多く組まれているという現状がある。それらも生徒が生涯にわたって学びを続けていく大切な学習活動の一環ととらえ、土曜授業等の実施は最小限とする。一方で、学校行事など体験的な学習活動の実施にあたっては、事前・事後学習を含めた学習時間の連続性と計画的な実行が極めて重要であることから、土曜等の授業日を次のようにする。

- | | |
|-------------------------------|--------------------|
| 5月27日（土）運動会 | 7月15日（土）学校公開・進路説明会 |
| 10月21日（土）学校公開・新入生保護者説明会・進路説明会 | |
| 9月24日（日）修学旅行（3年生） | 1月28日（日）スキー教室（1年生） |

なお、開かれた学校づくりに向けた保護者・地域への学校公開については、土曜授業以外にも月に1回以上の平日の授業日を公開日として設定し、広く教育活動を周知する機会とする。